

議会だより

題字は日出中3年 おがた尾方 きょうか杏果 さんです

ひじ



No. 110

平成29年10月26日
発行 大分県日出町議会
電話 0977-73-3135



藤原赤松区敬老会でのひよっとこ踊り 楽しい一日でした

目次

9月定例会

- 決算特別委員会・予算常任委員会 2
- 委員会報告 4
総務産業常任委員会・福祉文教常任委員会
- 全員協議会 6
- 研修視察 7
- 11人が町政全般を質す 8
一般質問
- 町民の声 20



議員が編集した手づくり議会だよりです

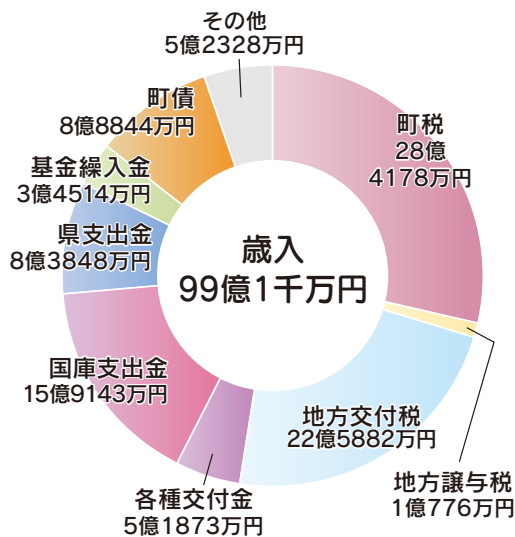
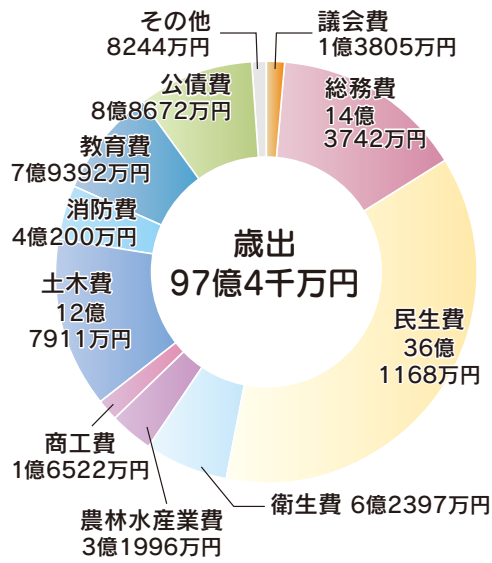
議会などの審議の記録は町のホームページでもご覧いただけます。

平成29年

9月定例会

9月定例会は、8月31日から9月26日までの会期で開催されました。町長から施政方針を含めた議案に対する提案理由の説明が行われ、29年度一般会計補正予算をはじめとする予算関連議案と条例制定・改正議案9件、同意1件、認定2件を27日間にわたり慎重に審査しました。審査の結果、一般会計補正予算を賛成多数で可決。その他の議案を全会一致で可決しました。

【平成28年度決算内訳】



特別会計歳出決算

	27年度	28年度
国民健康保険	38億5252万円	36億1264万円
簡易水道	1448万円	1916万円
公共下水道事業	8億9075万円	8億7321万円
漁・農業集落排水事業	8065万円	7489万円
介護保険	24億7280万円	23億6357万円
後期高齢者医療	2億8311万円	2億9740万円

基金(町の預金)

	27年度	28年度
各種基金の合計	22億8378万円	21億2338万円

町債(町の借金)

	27年度	28年度
一般会計	101億4928万円	102億5007万円
特別会計	44億1836万円	44億2164万円

基金繰入れ 3億4500万円 (平成28年度決算)

【一般会計歳出】

歳出の決算額は、前年度に比べ5億3205万円減額の97億4049万円となりました。

児童・高齢者・障がい者・生活困窮者に対する事業に要する経費(扶助費)は、依然として増加していますが、陽谷駅整備事業や中央体育館耐震補強事業の終了により、普通建設事業費は大きく減少しています。また、人件費は横ばい、公債費は、保健福祉セ

【一般会計歳入】

歳入の決算額は、前年度に比べ5億5894万円減額の99億1386万円となりました。

法人町民税、また地方消費税交付金、地方交付税が大幅な減額となり、財源不足を補うため、財政調整基金や減債基金からの繰入金が増加しています。

【特別会計】

国民健康保険特別会計は、被保険者数、一般療養給付費が減少したため、大幅な減額となりました。なお「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険等の一部を改正する法律」の改正により、平成30年度から、県が市町村ごとの標準保険料率を算定するなど、財政運営の主体となり、町とともに国保の運営を担います。

【予算委員会】

29年度補正予算

既定の予算に、歳入歳出それぞれ1億6649万円を追加して、補正後の予算総額を103億2464万円とするものです。

補正予算の主な財源としては、普通交付税1億1473万円、前年度繰越金2000万円、地方債などで、その他財政調整基金で調整し財源措置しています。



安心して過ごせる環境を

多目的トイレ設置

日出佐尾区の松屋寺前の観光駐車場と大神漁港に多目的トイレを新設します。あわせて、大神漁港では、休憩所、駐車場も整備します。

1220万円

こども園に防犯カメラ

国の2分の1の補助を受け希望する認定こども園に対して、防犯カメラ、緊急通報装置、フェンスなどの設置費用を補助します。

1147万円

子育て環境の整備

放課後児童健全育成事業として、川崎なかよし児童クラブの駐車場を舗装し、転落防止フェンスを設置します。

707万円

福祉空間の環境整備

国の交付金(全額が交付)により、地域介護・福祉空間整備等支援事業として、介護施設「シユエル藤原」にスプリンクラーなど防火設備を整

備します。

399万円

園芸・酪農支援

活力あふれる園芸産地整備事業により、大神三尺山区の小ねぎ水耕栽培に対しボーリング工事を補助、酪農支援対策施設整備事業として、藤原一北区の牧場に熱対策用換気扇の設置費を補助します。

392万円

副町長の選任に同意



目代 憲夫 氏
(日出 西八日市)

現副町長の任期満了にもかかわらず、副町長選任の同意が定例会初日に上程されました。総務課長、税務課長など歴任された目代憲夫氏を採決の結果、全会一致で同意しました。

国に対し意見書提出

地方財政の充実・強化

大分県地方自治研究センター理事長 中山敬三氏提出の「地方財政の充実・強化を求める意見書の採択に関する請願」を採択、国に対し意見書を提出します。

【意見書主旨】

平成30年度予算と地方財政の検討にあたっては、歳入・歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実と新たな政策課題に直面している地方財政の確立を目指すことが必要のため、

- ・災害や人口減少対策などに見合う地方財源の確保
- ・現代のニーズに対応した社会保障予算の確保
- ・耐震や減災対象事業の拡充
- ・人口急減や急増自治体の地方交付税算定の再検討
- ・歳出特別枠や創生事業費における現行水準の維持
- ・小規模自治体に配慮した地方交付税の段階補正強化の実現を求めます。

総務産業

議案等の審査結果

収入申告義務の免除

町営住宅入居者の中にも今後、単身の認知症患者が増加することが考えられることから、本人の申告によらず、市町村長等による代理申告が可能になります。

投票率向上への取り組み

アンケート調査を実施した結果、投票日当日に仕事や用



役場ロビーの期日前投票所

事で投票に行けなかった人が3割、7割の人が2時間程度の投票時間の繰り上げを希望しています。期日前投票が浸透したこともあり、期日前投票所の増設、投票時間を検討していきます。

ふるさと納税返礼品の見直し

ふるさと納税制度を健全に発展させていくために、改めて、制度の趣旨に沿った責任と良識ある対応を徹底するよう総務大臣から通知がありました。日出町でも、資産性の高いものと価格が高額なものを返礼品より削除します。

地籍調査成果課税導入に向けた地区説明会

8月17日から9月19日までの間、合計10会場で説明会を実施しましたが、対象者2422人のうち出席者は320人でした。出席率が低いため再度、説明会を開催すべきと要請しました。

高齢者の急発進事故防止

急発進防止装置の市販化に伴い、他の市町村に先駆けて助成を実施するための検討を行います。

閉会中の審査

7月28日開催

日出町職員採用試験

今年度から上級・中級・初級を廃止し、年齢制限も30歳となりました。1次試験日は10月15日となっています。

移動販売車の運行開始

日出町と生活協同組合「コープおおいた」は、3月28日に「ふれあいのできる包括連携協定」を締結しました。この協定に基づき、8月7日から移動販売車の運行を開始します。対象地区は目刈、高平、太田、新町、中の三です。

日出かぼちゃブランド化推進

高品質、高糖度のかぼちゃが、JA選果場へ集荷され

ました。集荷個数1450個中20個を糖度計測した結果、75%が糖度19度(普通品12度)以上の判定でした。

川崎工業団地現地調査

南棟のエレベーターが、9月末の完成予定で、10月から南棟、FAB棟、東棟へのアクセス道路改善工事を計画しています。また、昨年8月に立地協定を締結した東和運送(株)が北側駐車場用地(約4800㎡)に倉庫・事務所・洗浄機スペース・給油所を新設する計画で工事を進めています。11月中旬に完成予定で



工事が進む川崎工業団地

福祉文教

議案等の審査結果

教職員の時間外勤務調査

学校教職員の労働環境は、定数問題や長時間労働をはじめ多くの課題を抱えています。この調査は、日出町でも「教職員の働き方改革」をすすめるより良い環境で、子どもたちと接する時間を増やしていくるよう、教育委員会が積極的な取り組みを行うために使用する基礎資料となります。



教職員の働き方改革



川崎なかよし児童クラブ（建設予定地）

マイナンバーカード

マイナンバーカード申請窓口にきて、写真を撮り、その場で申請の手続きができるようになります。写真撮影や申請手続きには手数料はかかりません。

児童クラブ整備

川崎なかよし児童クラブが新しく整備されます。建築面積144・10㎡、着工予定29年9月20日で、児童クラブの利用開始は29年12月の予定です。

閉会中の審査

8月2日開催

大分県学力定着状況調査

各小中学校で、学力定着状況調査が4月に行われました。小学校5年生では、平成28年まで全体的に向上していましたが、今年度は国語、理科で県平均を下回っています。中学校2年生では、昨年度から向上が見られますが、数学が下降傾向にあることや、英語で偏差値50を下回るなど、課題がみられます。今後は、各校で結果を分析、指導の改善を進め、12月の町の学力調査などで改善状況を確認します。

臨時福祉給付金

支給者対象見込み人数、5784人に対して申請済人数4712人、申請率81%、未申請の方に再度通知を送付します。

子ども医療費

受給資格者の拡充分の登録申請（受付状況）は、対象1

460世帯に対し、申請1373世帯、申請率94%となっています。

学校巡視

7月10日開催

小学校3校、中学校1校の巡視を実施しました。学校の防犯関係、A・L・T活用事業の調査を行い、各校長と意見交換を行いました。中学校の防犯について、特別な安全措置はないが、県に現状を確認をしてもらい防犯力メウの設置や緊急通報装置の設置を検討しています。議会としても今後更に協議を進めます。



学校長と意見交換

【全員協議会】

財政健全化の判断比率

県や市町村の財政破綻を防ぐための、財政の健全度を5つの指標で判断する「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」により、毎年度、

- 実質赤字比率
- 連結実質赤字比率
- 実質公債費比率
- 将来負担比率
- 資金不足比率

を算定し、監査委員の審査を受け、意見書を付して議会に報告するとともに、町民の皆さんへ公表することが義務付けられています。

この法律では、財政悪化の度合いに応じて、「早期健全化基準」、「財政再生基準」が設けられており、町が算定した各指標いずれか一つでも基準を超えれば、「早期健全化団体」、「財政再生団体」に指定（現在は北海道夕張市のみ）されます。この場合、財政運営の健全化を図るための「財



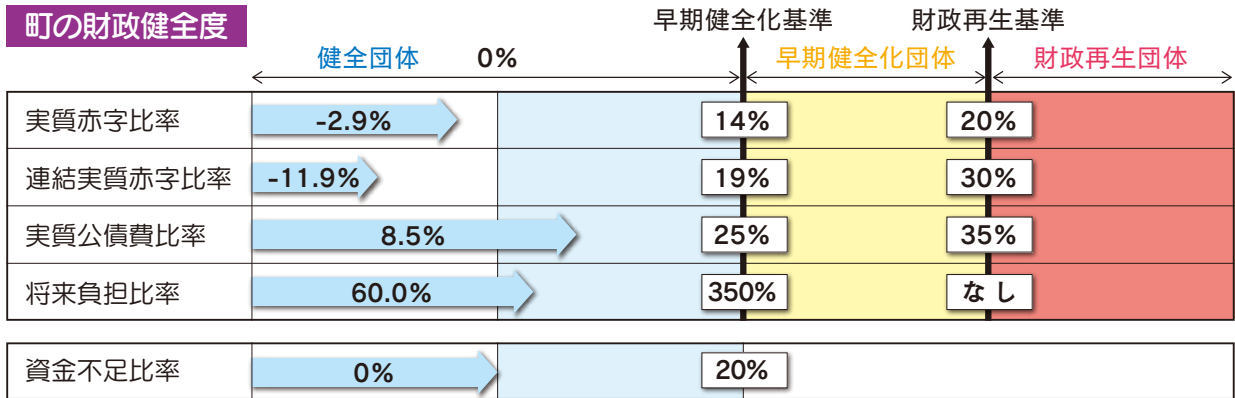
今後も健全財政を目指します

財政は健全性を保持

政再生計画」を策定し、外部監査が義務付けられるとともに、起債の制限や税金、公共料金の増額、住民サービスの見直しなど、国や県から様々な制約を受けることとなります。

平成28年、財政健全化法の施行以来、町が算定した各指標とも早期健全化基準、財政再生基準ともに大幅に下回っています。

町の財政健全度



～議員ソフトボール大会～ 惜しくも1回戦敗退



日出町議会 一致団結

9月9日開催された、県民体育大会公開競技議員ソフトボール大会において、佐伯市議会チームと対戦。健闘むなしく7対5で敗戦となりました。

町村議会議員研修会

8月3日、県内3町1村の議員が出席し、講師に明治大学名誉教授 自治体危機管理学会会長 中邨 章氏を迎え、「防災と危機管理」と題し、議会の防災対策や業務、危機対応など、防災における住民に期待される町村議会の役割について勉強しました。

デマンド交通 移住定住促進事業

総務産業常任委員会

研修日

7月5日～7日

研修先

①長野県東御市 ②大町市

研修目的

- ①公共交通の充実
- ②人口増加に向けた取り組み

研修まとめ

▼東御市

合併当初から、路線バスや

公共交通、市営バス等が混在し、昼間の利用者がほとんどなく、採算割れの状態でした。そのため平成18年4月に新交通システムの基本方針を決定し、民間によるデマンド交通が導入されました。維持管理費は7700万円、その内6300万円を市が助成。日出町でも、移動手段の確保として、現行のコミュニティバスを含め、町民のニーズに応じた公共交通システムの構築

への検討が必要です。

▼大町市

平成24年度から定住促進事業を重点プロジェクトとして、都市部での移住セミナーを年に12回、魅力体験ツアーは年に3回実施。また、公営住宅を25年度から毎年度2～3戸新築し、中学生以下の子どもがいる世帯は家賃を減額しています。若い世代をターゲットにした施策に注力していると感じました。



町政に活かすための研修

地域活性化の取り組み 図書館運営

福祉文教常任委員会

研修日

7月25日～27日

研修先

①北海道北広島市 ②小樽市

研修目的

- ①地域包括ケアシステム
- ②市立図書館の取り組み

研修まとめ

▼北広島市

廃校した小学校を活用す

るため、市がプロポーザル方式で民間事業者を選定し、平成26年4月から総合型福祉施設として運営をしています。市と地域、事業者が三位一体となって地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいることが印象的でした。日出町でも今後、介護保険利用者が増加することを踏まえ、地域包括ケアシステムの構築は不可欠です。

▼小樽市

大正5年に開設した



実際の図書館を見学しました

北海道で2番目に古い歴史のある図書館で、昭和58年に改築。特色ある事業として、移動図書館『わくわくブック号』が市内38カ所のステーションを巡回し、図書館から遠い地域の住民に対して、少しでも読書の機会を増やす取り組みを行っています。日出町も、新たな施策をプラスして、特色ある図書館を築いていくために、更に調査研究を重ねていきます。

◆ 11人が一般質問 ◆

- 1 岡山 栄蔵 議員
 1. 防災マップの見直しは
 2. 防災計画の改善を
- 2 森 昭人 議員
 1. BCP（業務継続計画）策定状況は
 2. 小学校に防犯カメラの設置を
- 3 佐藤 隆信 議員
 1. 国保の資格証明書について
 2. 保険滞納者について
- 4 熊谷 健作 議員
 1. 部活での教職員負担軽減
 2. 日出町の観光戦略は
- 5 岩尾 幸六 議員
 1. 防災行政無線の建設計画は
 2. 高齢者支援
- 6 阿部 真二 議員
 1. 子ども・子育て支援事業
 2. 日出の幸ブランド化
- 7 川西 求一 議員
 1. 子どもの貧困対策
 2. 学校図書館
- 8 土田 亮治 議員
 1. ふれあいセンターの機能充実は
 2. 農業の現実と課題
- 9 工藤 健次 議員
 1. 企業誘致の現状は
 2. ふれあい農園の利用状況
- 10 池田 淳子 議員
 1. 防災訓練の計画は
 2. 地方創生事業の検証は
- 11 金元 正生 議員
 1. 移動販売車の方向性は
 2. 家庭用ごみ収集場所の問題

一般質問

町政を問う

9月定例会では、11人の議員から町政全般について、2日間にわたり活発な議論が展開されました。



岡山 栄蔵 議員
(川崎地区)

問 防災マップの見直し

答 全体的な更新の時期にきています

問 危険箇所の把握はできていますか、また、確認や見直しなどの頻度は。

総務課長

大分県土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域として148カ所指定されています。また、毎年、県が土砂災害防止法に基づく基礎調査を行い、追加指定箇所があれば見直しを行っています。

問 近年の異常気象を見ても、防災マップの見直しや検証を行っていくべきですが、現状はどのようになっていますか。

総務課長

現在の防災マップは、作成から5年が経過しています。全体的な更新の時期にきていますと感じています。

問

今年度、県は防災計画の大幅な修正を行っています。町民が安全で安心して生活できる環境をつくるためにも、早急にも町も防災計画の改善に取り組むべきではないですか。

町長

昨年の熊本・大分地震の経験を踏まえて、防災計画、避難所運営マニュアル、避難計画の見直しに取り組んでいきます。

問

福祉避難所には医療機関、介護老人施設などがありますが、そのような機関、施設との連携は。

総務課長

行政・福祉関係者・医療関係者の代表が集まり、福祉避難所担当者会議を年1回開催しています。

問

防災資機材に対して町が上限5万円の助成をしています。が、年間どれくらいの件数・要望があり、どのようなものに使われていますか。

総務課長

平成28年の実績では、発電

機や投光器、リヤカー、防災ベストの購入のため5自治区から申請がありました。

問

これからは、公に頼り過ぎない自助・共助が改めて重要になってきます。こういったことを踏まえて行政として、今後どのように取り組んでいきますか。

総務課長

臨機応変な対処方法を身につけてもらえるような訓練などを通して、防災に対する意識を町民に持ってもらうよう取り組みを進めていきたいと考えています。

・この他に、町民関係団体、民間団体との関わりについて質問がありました。

質問を終えて

今ある計画が、机上の空論にならないように、実践的な取り組みを



防災意識を高めましょう



森 昭人 議員
(日出地区)

問 各自治体個別の防災計画を策定すべき

答 避難計画も含めて策定を指導します

問

危機管理室設置により、これまでよりワンランク上の防災・災害対策、総じて早急な危機管理運営が求められます。BCP(業務継続計画)策定状況は。

総務課長

非常事態でも優先的に実施すべき業務を的確に行えるよう、現在、各課において業務の特定を行っています。その後、検討委員会で策定に向け取り組んでいきます。

問

いつごろ完成する予定ですか。

総務課長

今年中には、策定したいと考えています。

問

避難マニュアルの策定状況

はどの程度ですか。

総務課長

まず、今9月中旬に豊岡地区の計画を策定し、意見交換をするなかで、住民の皆さんの意見を聞きながら、しっかりとしたものにつくり上げていきます。その後、今年度中に藤原地区に取りかかります。

問

防災意識の向上と自主防災組織の活性化に今後、どう取り組んでいきますか。

総務課長

自助・共助の重要性を認識してもらうために、各区長に各種防災訓練の実施をお願いしています。今年度、まだ1件という状況で



「もしも」のための備えを

す。住民の意識の醸成や実質的に機能する組織に変革させるための施策を展開し、理解を深めていきたいと考えています。

問

各自治体の、実態に合った個別の防災計画を策定すべきと考えますが。

総務課長

当然、各地区によって事情が異なるわけですから、避難計画を含め、地区の防災計画を策定するよう指導していきたいと思っています。

緊急通報装置・防犯カメラの設置を検討

問

6月定例会の質問で幼稚園・小学校に緊急通報装置や防犯カメラ設置を求めましたが、協議、検討していますか。

教育総務課長

幼稚園のうち豊岡、日出の2園は、前回ご指摘のとおり小学校から離れた場所にあるという特殊な環境にあることから、まず、緊急通報装置の設置準備を進めているところです。また、ある方から、豊岡小学校に防犯カメラなど一式を寄付していただけているとお話があり、設置を待っているところです。また、設置後に、その有効性を検証し、その他の学校への設置を研究していきます。

質問を終えて

まだ実質PDCAのP、「災害の少ない町」から「災害に強い町」へ



佐藤 隆信 議員
(大神地区)

問 国保資格証明書の交付の実態調査は

答 戸別訪問の方向で協議します

問 国民健康保険加入者はどう
いう方ですか。
健康増進課長 農林水産業、自営業、無職の方が加入しています。

円の場合、30万7100円で
す。共済組合委員の負担額は
31万5千円ですがその半分が
自己負担となっています。

問 加入者の所得水準は。
税務課長 所得なしが43%、所得100万円以下が30・9%、所得200万円以下が5・7%です。

問 国保加入者で夫婦と子ども2人、年間所得200万円の場合、保険税の負担はいくらになりますか。
税務課長 基準総所得200万



国民健康保険加入の窓口（役場健康増進課）

問 国保の算出方法は、応能割49・1%、応益割50・8%ですが、国の基準は50対50なので国の基準割合にもとず考えはありませんか。
健康増進課長 制度が50対50となっているので、近づけるよう努力したいと思っています。

問 28年度決算で保険税を納めない、納められない世帯数は。
税務課長 現年度の滞納は435世帯です。

問 国保税が高くなった原因は、国庫負担が大幅に削減されたためだと考えます。その他の原因はありますか。
健康増進課長 医療費の増加が考えられます。

問 保険滞納者に対しての取り扱い
資格証明書を交付している人は。

健康増進課長 6月末現在で、資格証明書発行者は95人です。

問 資格証明書を発行するときには、戸別訪問をして実態調査を国の定めに基づいて行うべきではありませんか。
健康増進課長 戸別訪問は国からの通告もあるので、慎重に協議します。

問 国保税の滞納問題は国保の仕組みそのものを変えないと解決しないと思います。町長の認識は。
町長 国保を税の面だけから捉えるのはいかなるものかと考えますが、社会保障ですからその運営安定は、国などに求めたいと思っています。

質問を終えて
国保税の滞納者は所得の少ない人なので収納係は慎重に



熊谷 健作 議員
(豊岡地区)

問 教職員の負担軽減を

答 今後も考えていきます

ています。

問 マンガを置くことの是非は

図書館長

現在500冊程所蔵しています。日本の文化として評価されており良質なものを収集していきたいと思えます。

問 今後はどのようなイベント

を予定していますか。

図書館長

ミニコンサートや講演会な

町特産品の開発

問

日出町の観光戦略は。

商工観光課長

体験型観光への移行や情報発信、各イベントの開催、地域連携による観光施策です。

問

6月に外国人観光客が来町した時の人数と消費額は。

商工観光課長

約千人で10万5千円でした。

問

町特産品の開発が急務と考えますが。

商工観光課長

まず、生産者や各団体との協力や意思交換の体制づくりをしていきたいと思えます。

質問を終えて

特産品は、販売対象を絞り、嗜好をつかみ販売方法を考えるマーケティングが重要。

問

経済的に塾に行けない子どもへの支援策は。

学校教育課長

月1回、子ども教室を開いています。さらにボランティアの活用で取り組んでいきたいと思えます。

問

いじめの実態と対策は。

学校教育課長

認知件数は小学校224件、中学校で44件です。アンケート、面談で早期発見し対応していきます。

問

部活での教職員の負担軽減を。

教育長

複数の教員での担当や外部コーチの導入などで図っていきます。

問

夏休みの短縮や教職員の盆休みの取得は。

教育長

今年度、保護者や教職員にアンケートを取り、その結果で検討します。

問

学校現場への町単費での人員配置を。

町長

ICT支援員の配置を実施しました。今後も考えていきます。

町立図書館の活性化

問

町立図書館の利用者、若年者の割合は。

図書館長

18才以下は31%で、若い方の来館が増加し



若年者の利用が増加している町立図書館



岩尾 幸六 議員
(川崎地区)

問 日田の災害へ派遣した職員の人数は

答 保健師4名を派遣しました

気象庁や県の災害対策本部などからの情報をもとに行っています。

問

防災行政無線は、今年度、何基の建設を計画していますか。また1基の建設コストはいくらですか。

総務課長

1基の建設コストは330万円で、今年度は6基(約2千万円)を計画しています。今年度の建設で町内38基となり、事業は完了予定です。

問

防災行政無線は、風雨のなかでは聞き取れないとの声が多く聞かれます。土砂災害危険箇所28の地域で建設予定があれば、防災無線でなく、各戸に「戸別受信機」の設置ができませんか。

総務課長

中山間地域の6地区には、戸別受信機の設置を計画しています。土砂災害危険箇所などで行政無線が聞きづらい地域でも受信機の必要性を感じているため、前向きに検討します。

高齢者支援

問

杵築・別府市では高齢者が免許を返納する際には1万円程度の路線バス回数券や二モ力などを支給しています。日田でも支援制度の導入ができませんか。

生活環境課長

返納高齢者が利用しやすいように、町内の交通インフラを考慮しつつ現在検討中です。

問

高齢者の移動手段の確保として、コミュニティバスの運行見直しや、デマンド交通の導入に向け検討できませんか。

町長

高齢者の移動手段は非常に重要な事です。デマンド交通も有効ですが、コミュニティバスを含めたなかで検討していきます。

質問を終えて

早急に免許返納者への支援策実現を



大雨で冠水した町内の道路

問 7月に日田市で発生したような豪雨が日出町でも発生した場合、どのような災害が予測されますか。

総務課長

町内28カ所で、がけ崩れなどの土砂災害が予測されます。これらの場所は年1回警察・消防・消防団など共に防犯パトロールを実施しています。

問

住民への避難伝達方法は、防災行政無線や防災情報提供メールなどで伝達するとありますが、どれ位の雨量に達した場合に避難準備や避難勧告を出すのですか。



阿部 真二 議員
(大神地区)

問 子ども子育て支援事業の評価は

答 今年度、中間報告を行い公表します

問

子ども・子育て支援事業計画の達成状況の点検・評価・見直しはどのようになっていますか。

子育て支援課長

現在、平成27年3月に5年間を計画期間として策定した「子ども・子育て支援事業計画」に沿って子育て支援にかかる各種施策を展開してまいります。今年度は中間年度にあたることから、今後、日出町子ども・子育て会議を開催し、これまでの取り組みを検証するとともに計画の見直しなどを行います。

問

この計画の進捗は、毎年度点検・評価・公表を行うことになっていますが、どのように行っていますか。

子育て支援課長

計画と実績に大きな乖離はなく、ほとんどの項目において目標値をクリアしています。いまだ子ども・子育て会議を活用した点検・評価は行っていませんが、今年度、中間報告を公表します。

問

子育て支援パスポートの内容はどのようになっていますか。また



子育て支援パスポート

た、利用状況は。

子育て支援課長

子育て支援店が子育て家庭に対して、可能な範囲で独自に設定したサービスを提供しています。県内に365店舗、町内に4店舗あります。利用状況は、報告義務がないため分かりません。

住民サービスの向上

問

コンビニのコピー機を活用した戸籍・住民票などの交付を行う計画はありますか。

住民課長

住民の利便性の向上と、事務の効率化、財政負担を念頭に置き、良いサービスにつながる

がるように課題を整理します。

日出の幸ブランド化

問

城下かれいの商標登録はどのようになっていますか。

商工観光課長

城下かれいのロゴの絵柄の選定などで止まっています。地方公共団体が商標権を取得する意義やメリットを検証し前向きに考えていきます。

問

どのような状態をブランド化と認識していますか。

農林水産課長

その銘柄が認知されて独自の価値を持ち、自分だけのマークや名称を付けて販売し、それが有名になって高価で取引される状態をイメージしています。

・この他に、観光振興、企業誘致について質問がありました。



川西 求一 議員
(豊岡地区)

問 学校司書雇用は町の責任で行うべきでは

答 関係各課と調整をはかります

問

学校教育における学校図書館の果たす役割は非常に重要です。町の学校図書館に対する基本的な考え方は。

教育総務課長

学校教育において欠くことのできない基礎的な施設であり、その健全な発達を図り学校教育を充実することを目的としています。

問

学校図書館で働いている学校司書は、町の責任において雇用を図るべきでは。

教育長

保護者負担の軽減の方向性からもそのように考えます。関係各課と調整を図りながら



重要な役割を果たす学校の図書館

行っていききたいと思っています。

町長

歴史的経過を見ながら、改めるべきは改めていききたいと思っています。

子どもの貧困対策

問

子どもは社会の宝と言われますが、子どもの貧困率は7人に1人と言われています。その実態把握と対策は。

学校教育課長

就学援助を受けている児童生徒の割合で把握しています。対象者には、これまで学用品や給食費など、また、今年度は、新規に就学旅行費全額助成や、高等学校入学準備費用の奨学金などで支援しています。

町長

子どもの貧困問題は、生活・教育・親の就労・経済的支援など課題があるため、それぞれのケースにあわせて、県および関係各課の連携した取り組みが必要です。

子ども食堂

問

町として「子ども食堂」に対する考えと取り組みは。

子育て支援課長

子ども食堂は、子どもの孤

食や貧困、地域や世代間交流など多面的な役割が期待される対策です。現在、町内1団体と連携し、開設準備などを調査検討しています。

防災

問

九州北部災害からの教訓は。

総務課長

被災市町村の実例や、派遣職員との情報共有を図り、今後発生が懸念される大規模災害に備えます。

問

農業用ため池の防災・減災効果は。

農林水産課長

今回の豪雨災害で、ため池が災害の拡大を防いだ面があると思われる。今後も防災担当課と協議しながら調査・研究していききたいと思っています。

質問を終えて

子どもたちの心が垣間見えるのが食堂と、図書館では



土田 亮治 議員
(藤原地区)

問 ふれあいセンターの機能充実は

答 新組織体制を目指し早急に検討します

問 地区公民館、ふれあいセンターの利用状況は。

総務課長 28年度は豊岡2万人、川崎9100人、大神5700人、藤原5500人です。

問 貸館業務が主な内容のようですが、ふれあいセンターを設置した際に予定していた業務、また協働のまちづくりの拠点として機能していますか。

総務課長 ふれあいセンター・地区館で、町民の様々な課題を現場に取り次ぐという形を目指しましたが、機能できていません。行政分野と教育分野の垣根があり、連携がとれず、職員育成、指導不足で十分な支援体制ができていないこと

が原因だと思っています。

問 改革をする考えは。

教育長

町長部局と教育委員会部局を一本化し、一体的に展開できる新たな組織体制を目指して早急に検討していくことをお約束します。

町長

就任後、職員と議論してきましたが、早急に進めていきたいと思っています。

農業の現状と課題

問

水稲・野菜・果樹生産者へのたい肥活用事業の利用状況と反応は。

農林水産課長

問い合わせは5件ですが対象となる町内畜産農家が2

戸しかなく、鶏糞しか利用できないことから、対象畜産農家を増やしていきたいと思っています。現在の申請者、利用者はありません。

問

かぼちゃのブランド化推進事業の事業者、植付面積、収量目標及び成果と今後は。

農林水産課長

取り組みは5年間、29・30年度は試験栽培とし、収量目標は3tです。6名が30aを作付け、今年度は1・45tを関東大田市場に出荷し、キロ単価300円でした。今後は、面積を増やし、20名程度にしたいと思っています。販売先は、市場が主ですが、インターネット販売などで、販路の拡大をはかりたいと思います。

問

新規就農者数は何人くらいですか。また、就農者支援事業で予定された人数を超えた場合の対応は。



ブランド化が進むかぼちゃ

農林水産課長

過去5年間で28名、うち9名が自営就農者です。また、就農者支援事業には、新規就農者支援、農業次世代人材投資資金事業などがありますが、人員をオーバーした場合は、補正予算で対応を考えています。

•この他に、総合型地域スポーツクラブ、農業委員会について質問がありました。

質問を終えて

町民から求められる事業は継続を



工藤 健次 議員
(大神地区)

問 川崎工業団地の北・東棟の今後は

答 企業誘致に向けて整備を進めています

問 老朽化の川崎工業団地、北・東棟をどのようにしていきますか。

財政課長 国の平成28年度補正予算を活用して耐震補強工事など、企業誘致に向けて整備を進めています。

問 年間の収支額と譲り受け後の経費は、いくらですか。

財政課長 28年度は貸付収入851万円、支出4983万円です。公共施設整備基金繰入金1800万円、川崎工業団地振興事業債2350万円で財源措置をしています。歳出総額は、28年度末までで、1億8299万円となっています。

問 企業誘致の現状は、どのようになっていますか。

商工観光課長 (株)ホックスが南棟、平和商事(株)が南機械棟、(有)大洋運輸が事務所棟1階、東亜運輸(株)が北側駐車場用地に11月操業開始予定となっています。

地域おこし協力隊

問 活用状況は、どのようになっていますか。

政策推進課長 27年度の7月と10月に計2名を採用しました。1人が南端地区ふれあいサロンの活動をしていましたが8月に退職しました。もう1人は農林水産関係のかれい中間育成等に協力をいただいています。今

後は、協力隊員に何をしてもらうか目的を明確にして採用を計画します。

ふれあい農園

問 利用状況は、どのようになっていますか。

農林水産課長 29年度の利用者が8区画で、当初の20区画に比べ減少傾向です。年間6〜7回の草刈を実施し管理をしていますが、開園から10年を迎え、今後の農園の方向性を言めて検討しています。

職員の意識改革研修

問 職員研修の取り組みは、どのようになっていますか。

総務課長 住民の満足度を高めるため、民間視点からの考え方、時代の変化や新しい発想に柔軟に対応する必要性を認識することを目的に、係長以上を対象



開園から10年を迎えたふれあい農園

に実施しています。

町長 意識改革については、不断に取り組むべき課題であると思っています。

質問を終えて

二丁の把握と課題による確実な取り組みを望みます



池田 淳子 議員
(藤原地区)

問 今年の防災訓練の計画は

答 来年の3月に実施します

問 一昨年は3月に町内一斉の防災訓練を行いました。昨年は行われませんでした。毎年定着させることが重要だと思いますが、今年は何も計画はなかったのですか。

被害を最小限に食い止める防災の担い手であり、その方たちのネットワークが防災士会だと思います。一人ひとりではなかなか防災に寄与しづらく、力を発揮しにくいとしても、組織としての活動により

総務課長 今年には計画していませんが、町民の防災に対する意識の向上や地域での協力体制の構築のために、訓練は必ず実施しなければならぬと考えていますので、来年の3月4日実施で計画しています。

問 防災士の役割をどう捉えていますか。

町長 災害から地域を守り、



保護犬猫の近畿中四国自治体への移送
中央環境審議会動物愛護部会(第44回)資料3より

問 地域防災に主体的に取り組むことができると思います。

問 地域防災には女性の力が重要だと思いますが、女性防災士の立ち上げの進捗状況はどうですか。

総務課長

女性の視点を生かしたマニュアルを策定中ですが、防災への取り組みを強化するため、12月を目標に立ち上げるよう計画しています。

問

人の安全が最優先ですが、ペットとの同行避難は可能ですか。

総務課長

介助犬、盲導犬は当然、避難者と一緒に避難所で過ごせるよう計画していますが、それ以外の小動物は、ペットエリアで管理することも考えられます。それらも含めて、避難所運営マニュアルを策定しなければなりません。

問

豊岡公園を防災公園に整備するのであれば、災害時はペット同行避難ができるように

し、更には、ケージの確保などがスムーズにいくよう関係機関と連携をとっては。

総務課長

避難所運営マニュアルに明記していきたいと思っています。

地方創生事業の検証は

問

事業年度ごとに検証は行っていますか。

政策推進課長

28年度分は、8月23日に外部評価委員への検証報告を終了したところです。議会へは今定例会の全員協議会で報告を予定しています。

問

日出町での成功例・達成事例は。

政策推進課長

企業誘致件数、創業件数、移住定住の促進、健康寿命の目標値を達成しています。

質問を終えて

今やペットも大事な家族の一員であるとの認識を



金元 正生 議員
(日出地区)

問 移動販売車ふれあい
コープ便の方向性は

答 現状を確認しながら
検討します

問

他の販売事業主に影響のないよう十分な調査と配慮をしていただきたいと思います
が、買い物支援を必要とする方や地域のエリア拡大の検討は。

政策推進課長

移動販売車運行開始から日も浅く、現時点では検討までは至っていませんが、問い合わせは2件あり、情報、状況、要求などをしっかり確認しながら、エリア拡大に反映できるような慎重に進めていきます。

問

家庭用ごみ収集場所で問題をかかえている地域の実態把握は。



ごみ出しに支障のない収集場所設置を

生活環境課長

住宅地図により収集場所を特定しており、収集の実態を委託業者より逐次報告を受け把握しています。

問

現状ごみステーションが設置できない地域、ごみ収集場所まで運ぶのが困難な地域、通勤、通学に危険を伴うような状況の地域もあり、詳細な調査をして、収集車両の運行ルート、時間や曜日も含めて改善は。

生活環境課長

要望や問題を解決する必要がある地域は、職員が地域の住民の方々と一緒に改善策を考え、ごみ出しや収集に支障のないよう改善していきます。

問

緊急車両通行用の道路情報収集と今後の整備計画は。

都市建設課長

近年認定した町道は通行に支障はありませんが、古い時代に町道認定した路線については改良に至っていない路線もあります。今後も道路台帳による幅員の把握やパトロール、住民の方からの通報により通行が可能になるよう維持管理に努めていきます。

問

町道、里道に限らず必要に応じて道路整備が急務と考えますが、特に里道は整備できないところもあると思いますので、町と、警察、消防署と連携して情報交換を行い、実用的な情報マップを作成すれば緊急時に適切な対応ができると考えますが。

都市建設課長

今後は、警察や消防署と連携し、総務課、危機管理室と協同しながら、情報マップ作成を進めていきたいと考えています。

・この他に、老朽化した公共施設、さざんか通り商店街、総合型クラブひまわりのたねについて質問がありました。

質問を終えて

時宜^{しぎ}を得た施策を講じるには、先見、即時、柔軟性を持った組織の構築を

町民の声

『老人クラブは曲り角？明るい展望を』

今月10月10日、夏日を思

わせる暑さの中、ここ福祉センターグラウンド、笛を合図に一齐に動きが始まる。カッキーン、カッキーン、スティックでボールを打つ音、とあるホールで歓声とざわめき。「ヤッターホールインワン」周りの拍手に本人いわく「まぐれじゃ」とちよつと照れ気味ですが、鼻の穴は拡がり嬉しそう。選手の皆さん額に汗。喜々として身軽に動き回る平均年齢77才、32チーム128名。選手半数の16チームが交替にコートの舞台上上がる。他はだべりながら、観戦にぎやかこの上なし。平成29年度日出町老連の体育大会グラウンドゴルフ会場の風景です。

各地区大会等で勝ちぬいた精鋭部隊、戦いは白熱。結果優勝は真那井、二位は西小深江Eでした。

この一週間前10月3日、あやしげな天候でしたが強行、ゲートボール大会です。この競技は歴史も古く経験とかけ引きのある、まさに団体戦。佳境にはいるとまるで喧嘩で

もしている有様。それだけにしらしんけんの9チーム51名。優勝上仁王チーム。年々出場チームが減っており先き行きが多少心配、がんばって下さい。この二日間本町町長様を始めとする来賓の方々、選手役員、応援者、総勢約220名の方々が心をいっしょにして楽しい有意義な大会でした。高齢者のスポーツ活動を通し地域の仲間とふれあう健康づくり老人クラブ事業のほんの一部を紹介しました。

クラブの年間事業は多々あり単老、地区老連、町老連の役割もさまざまです。体育大会、芸能文化祭、年末チャリティーショー、各種親睦旅行、交通安全協会高齢者部会、県警の交通安全体験講座、幼稚園、学校、子供クラブ、地区清掃等の奉仕活動、新年会、花見、誕生日会、地区のふるさと祭り、高齢者学級等々。さて、私達老人クラブは地域を基盤とする高齢者の唯一の全国組織です。「のぼさう健康寿命、担おう地域づくり」をテーマで幅広い活動に取り



川崎区 千騎 河野 正光 さん

組み中です。要介護、孤立、消費者被害等々今全国の市町村では新地域支援事業に真剣に取り組んでいます。この為老人クラブは当事者行政や社会福祉協議会等関係団体と共に、あたたかな地域づくりの活動への参画をめざしていきます。これら事業を円滑に行う為には多くの仲間が必要で、近年クラブ会員、会そのものの解散が全国的な傾向であり、全国百万人増強運動展開中です。日出町も単老五年前で15名割り当てです。現状では難しい事ですが、先に述べた流れから知らん顔はできませんね。

新しい方々の息吹のもと、マンネリ化も防げ事業の活性化に繋がります。老人クラブは任意団体です。本人の意志次第です。この紙面を使って私の思いを述べました。関係者の方々へ心から感謝いたします。

議会を傍聴してみませんか

簡単な手続で、だれでも傍聴ができますので、是非おいでください。

12月定例議会の予定

- 11月24日 議会運営委員会
- 12月1日 本会議(初日)
- 5日 本会議(議案質疑・一般質問)
- 6日 本会議(一般質問)
- 7日・8日 常任委員会(予算)
- 11日・12日 常任委員会(所管)
- 13日 常任委員会(予算)
- 14日 議会改革特別委員会
- 15日 議会運営委員会
- 19日 本会議(最終日)

編集後記



9月28日、衆議院が解散し、10月22日が投票日となりました。投票には行きましたか。今定例会で執行部から「選挙に関するアンケート」の結果報告がありました。その中で投票をしない理由として

- ・誰が当選しても町政や生活は変わらない
- ・投票したい候補者がいない

・政治や選挙に関心がない
という意見が上位を占めていました。分からなくもありませんが、関心がなくとも投票に行くことで興味を持つこともあるでしょう。選挙権はせっかくの権利ですので、できるだけ行使しましょう。

編集委員長	森 昭人
副委員長	土田 亮治
委員	池田 淳子
委員	上野 満
委員	阿部 真二
委員	岡山 栄蔵